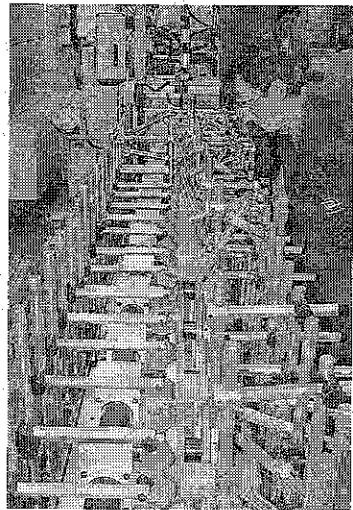


少量多品種 生産対応の ラッピンググマシューツ

ラッピング加工は、型PURホットメルト、場合、自動でローラー幅広いシート材に対応口フイル・ラッピンを採用するほか、基材を移動させ、位置決めする機能も有する。また、接着剤の初期強度が高いため、初期投入がスムーズに行えるという。

また、接着剤の塗布量は高精度に自動管理されており、材料の送り速度を変化させたことで、今回の展示機種では、ローラー幅が変化しても、接着剤は一定量を塗布されるよう自動調整される。なお、湿気硬化型PURの油圧クランプ

今回のソリューションも採用。さらに同じに組み込まれたラッピング機では、ローラーバーニング加工機「PUR自動オープンニングシステム」は少量多品種生産に対応するものラッピング形状が同じで、接着剤に湿気硬化で基材幅寸法が異なる

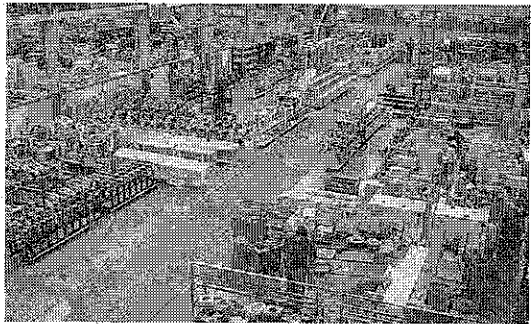


バーラン社のデモンストレーション

ラッピング世界トップのバーラン社

1929年に創業したバーラン社は、表面仕上げ加工関連機械のワールドリーディングメーカーで、特にプロファイル・ラッピングマシンの生産台数は世界トップの地位を確保する。量産効果でコストパフォーマンスに優れたスタンダードタイプから、幅広いユーザーニーズに対応した特注機種まで多岐にわたる機種をラインアップ。

製品化するのはV塗装フイル、V木目印刷ラントV塗装乾燥システムVプロファイル・ラッピングマシンVプロファイル・サンディングマシンVラミネーティング・マ



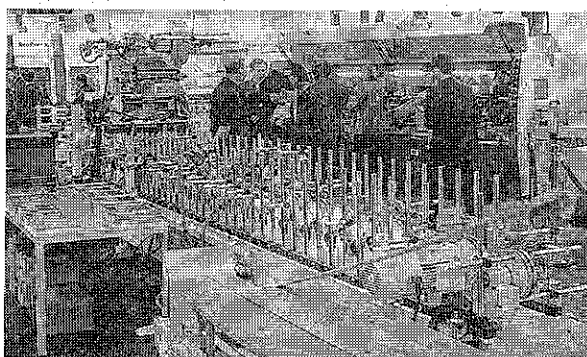
バーラン社の生産工場

湿気硬化型PURホットメルト採用

URホットメルトは、ラッピングシステムや、ローラーで紹介しているように、ノンVOCの健康対応接着剤で、低温による接着が可能。薄物から厚物シートに加え、紙やツキ板、オレフィンシートなど

素早いセット
替えにも対応

ラッピング加工は、



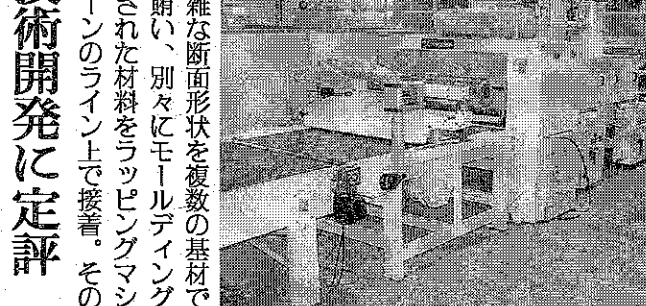
ラッピングソリューションに組み込まれたマシン

湿気硬化型PURホットメルトとは、

湿気硬化型PURホットメルトとは、反応して硬化し、接着が完了するということ。熱で融解する性質を持つ。接着の流れば、第1段階でホットメルトによる接着固定（短時間）が行われ、それに遅れてポリウレタンが湿気と反応して硬化し、接着が完了するということ。熱で融解する性質を持つ。

面仕上げ加工機全般を網羅。後発メーカーながら新技術開発には定評があり、昨年開催された世界最大規模の国際木工業機械見本市では、湿気硬化型のPURホットメルトによる「ホットコーティングマシン」が大きな注目を集めた。

また、ラッピングの最新機種では、ラッピングの前工程で形状の異なる複数基材を接着し、モールド加工を行うという特殊なラッピングマシンも商品化。



最新型のホットコーティングマシン

後発ながら新技術開発に定評

上段、全体的なモルター加工を行い、最終工程でラッピングを完了させるという。前後するが、高い注目を集めるホットコーティングは、ポリウレタン系接着剤を得意とするクレブケミ社（ドイツ・ブランド名はクライベリット）と連携して開発されているもので、PURホットメルトの特性を塗装技術に応用する新技術。

これは、床材などの表面処理を大幅に合理化するのが特徴で、普及するUV塗料では多数回必要だった塗装工程を1回に短縮することが可能。さらに①耐紫外線性の耐衝撃性②耐摩耗性③高い表面硬度④耐引つき性⑤耐汚染性⑥むためインシャルコストも低減されるという。